

平成25事業年度

財務レポート



国立大学法人 長崎大学



目次

国立大学法人会計のしくみ	…	1
決算の概要	…	3
財務諸表の関連図	…	4
貸借対照表の概要	…	5
損益計算書の概要	…	8
キャッシュ・フロー計算書の概要	…	14
利益の処分に関する書類の概要	…	15
国立大学法人等業務実施コスト計算書の概要	…	16
決算報告書の概要	…	17
主な財務指標	…	19

財務レポートの作成にあたって

国立大学法人会計の意義は、国立大学法人等の財政状態及び運営状況を適切に反映した財務諸表を作成・開示することにより、国民や社会への説明責任を果たし、同時に業務実績の適正な評価に資する情報を提供することとされており、財務諸表等は官報及び本学のホームページで公表しているところです。

HPアドレス(<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/disclosure/legal/open/index.html>)

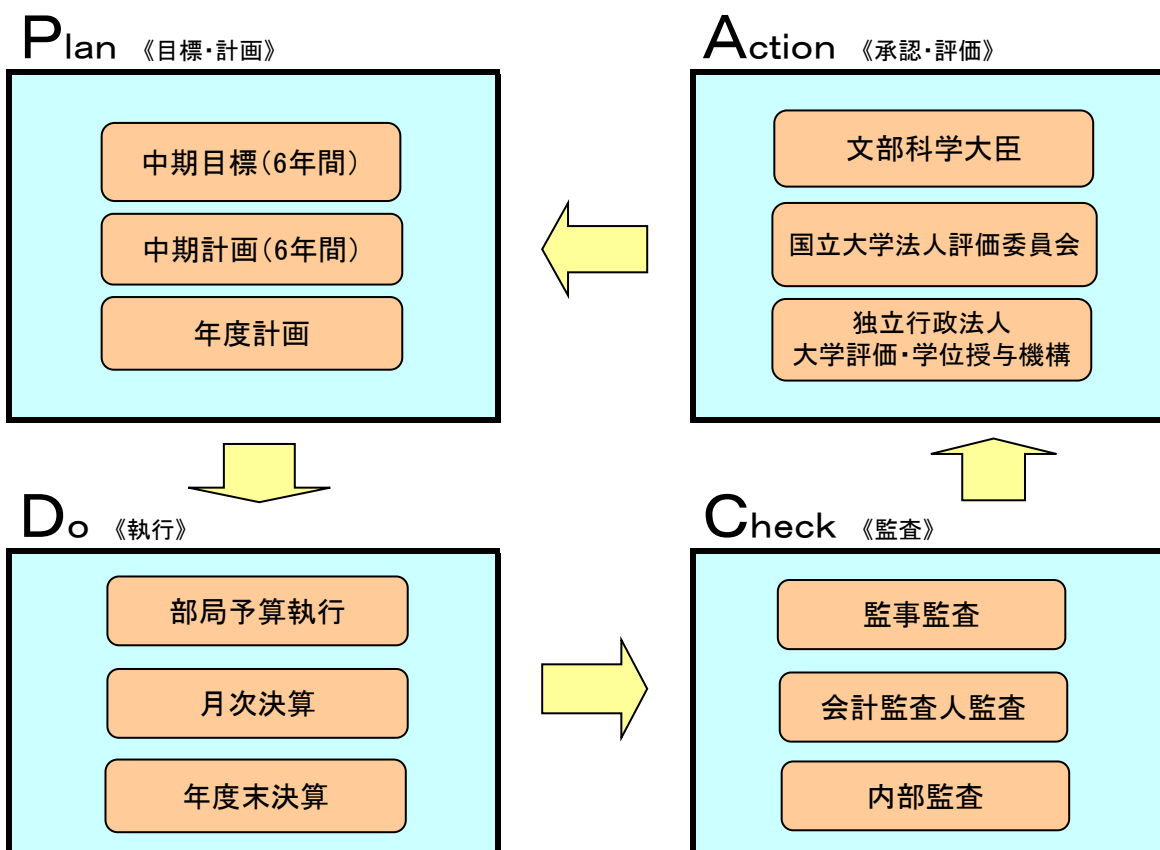
国立大学法人は「国立大学法人会計基準」に基づき会計処理を行っています。

本基準は企業会計に準拠しているとはいえ、多少異なる特徴的な会計処理を行っていることから、公表されている財務諸表だけでは、財政状態及び運営状況を理解し難い面があります。

そこで、この財務レポートにて、公表している財務諸表をなるべくわかりやすく解説し、ご理解いただくことを目的として作成いたしました。

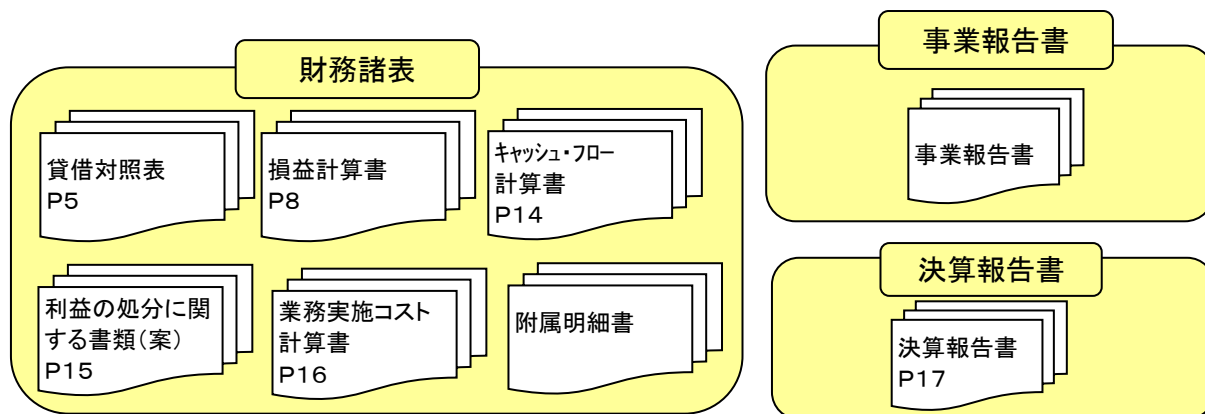
国立大学法人会計のしくみ ①

- 国立大学法人は、大学の基本理念や特性を踏まえた6年間の中期目標を達成するため、具体的に計画した中期計画及び年度計画に基づいて大学運営を行っています。
- 国立大学法人は、国立大学法人会計基準を基に各会計処理を行っており、複式簿記を採用しています。その結果として財政状態や運営状況を明らかにした財務諸表を年度末に作成しています。
- 作成された財務諸表は、事業報告書及び決算報告書を添え、監事並びに会計監査人の監査を受けた後、6月末日までに文部科学大臣へ提出します。
- 文部科学大臣は、提出された財務諸表等の承認を行います。また、中期目標に掲げた目標を達成するための中期計画及び年度計画が遂行されているかを総合的に評価します。



【年度末決算時に必要な提出書類】

毎事業年度終了後、文部科学大臣へ提出する書類は下記のとおりです。



国立大学法人会計は、企業会計とは多少異なる会計処理を行っており、通常の運営を行った場合、損益が均衡する仕組みとなっております。以下で主な特徴を説明します。

1. 受け入れたものは、一度負債として計上される！

受け入れを行った運営費交付金、学生納付金、補助金、寄附金、受託研究費等は、すぐに損益計算書上の「収益」とはなりません。

本学が、国や学生、寄付者の皆様に対して、サービスの提供等、行わなければならない「義務」を負ったということから、貸借対照表上の「負債（流動負債）」として計上します。

（流動負債例：運営費交付金債務、授業料債務、寄附金債務 等）

貸借対照表

資産	負債
《固定資産》	《固定負債》
	《流動負債》
《流動資産》	授業料債務
現金及預金	100
100	純資産

《仕訳例》 現金及預金100 / 授業料債務100

2. 資産を取得したら、流動負債から固定負債へ振り替える！

資産を購入した時には、受け入れ時に流動負債として計上した〇〇債務を、固定負債である資産見返〇〇へ振り替えます。

（固定負債例：資産見返運営費交付金等、資産見返寄附金 等）

貸借対照表

資産	負債
《固定資産》	《固定負債》
工具器具備品	資産見返運営費交付金等
0 → 60	0 → 60
《流動資産》	《流動負債》
現金及預金	授業料債務
100 → 40	
	純資産

《仕訳例》 工具器具備品60 / 現金及預金60
 授業料債務60 / 資産見返運営費交付金等60

3. 資産の減価償却や費用の発生に併せて負債の収益化を行う！

固定負債の収益化！

資産取得時において、固定負債に振り替えたもの（資産見返〇〇負債）は、資産価値を減少させる減価償却費と同額を収益勘定（資産見返負債戻入）へ振り替えます。

《仕訳例》 研）減価償却費10 / 減価償却累計額10
 資産見返運営費交付金等10 / 資産見返運営費交付金等戻入10

流動負債の収益化！

流動負債については、費用が発生した相当額を流動負債から収益勘定へ振り替えます。

（収益勘定例：運営費交付金収益、授業料収益、寄附金収益 等）

《仕訳例》 教）消耗品費40 / 現金及預金40
 授業料債務40 / 授業料収益40

貸借対照表

資産	負債
《固定資産》	《固定負債》
工具・器具備品	資産見返運営費交付金等
60	60 → 50
減価償却累計額	
0 → ▲10	
《流動資産》	《流動負債》
現金及預金	授業料債務
40 → 0	
	純資産

損益計算書

費用	収益
《経常費用》	《経常収益》
教育経費	授業料収益
（消耗品費）	0 → 40
0 → 40	
研究経費	資産見返運営費交付金戻入
（減価償却費）	

決算の概要

貸借対照表 P5

(単位:億円)

財政状態	資産 1,283	負債 577
		純資産 706

貸借対照表って何？

貸借対照表とは、決算日(3/31)における、**財政状態**を明らかにするものです。

何がわかるの？

本学が、**今年度の3/31現在**で資産をどれだけ保有し、負債をどれだけ抱え、その結果、**純資産**がどのようになっているのかわかります。

損益計算書 P8

活動状況	費用 505	収益 506
	当期総利益 1	

損益計算書って何？

損益計算書とは、一会計期間における本学の**運営状況**を示したものです。

何がわかるの？

金額面から見た今年1年間の活動内容がわかります。

《例》

- ・費用では教育経費でいくら使用したのか？
- ・収益では授業料収益をいくらあげることが出来たのか？
- ・最終的には損益均衡を原則としつつも自助努力によりあげた利益

キャッシュ・フロー計算書 P14

資金の流れ	業務活動	64
	投資活動	▲ 26
	財務活動	▲ 19
	資金増加・減少額	19
	資金期首残高	35
	資金期末残高	54

キャッシュ・フロー計算書って何？

キャッシュ・フロー計算書とは、一会計期間における**キャッシュ(お金)のフロー(流れ)**を一定の活動区分別に表したものです。

何がわかるの？

固定資産取得や借入・返済等の現金の受払が表示されているので、**貸借対照表や損益計算書からは読み取ることができない資金の流れの状況**がわかります。

国立大学法人等業務実施コスト計算書 P16

国民負担	業務に要したコスト	控除額
	525	▲ 336
	業務実施コスト	189

業務実施コスト計算書って何？

業務実施コスト計算書とは、本学の業務運営を行うにあたり、**納税者である国民の皆様からどれだけ負担**をしていただいたのかわかります。

決算報告書 P17

	予算額	決算額	差額	
収入・支出の状況	収入	563	579	16
	支出	563	548	▲ 15
	差額	0	31	31

決算報告書って何？

決算報告書とは、1年間の収入及び支出の状況を国の会計ルールに準じた予算区分に応じて作成したものです。
年度計画時に立てた収入と支出の見込額(予算額)がどのような結果(決算額)であったかを示したものです。

何がわかるの？

計画(予算)に対する結果(決算)や、予算区分に応じた**執行状況**がわかります。

財務諸表の関連図

(単位:百万円)

貸借対照表

資 産	負 債
128,370	57,693
	純資産
	70,677
現金及び預金 (定期預金除) 5,465 (内数)	当期未処分利益 115 (内数)

キャッシュ・フロー計算書

資金期首残高	3,562
業務活動	6,430
投資活動	▲ 2,635
財務活動	▲ 1,891
資金期末残高	5,465

損益計算書

経常費用+臨時損失	経常収益+臨時利益
50,543	50,545
	国から措置された 収益以外の収益 (自己収入) 33,598 (内数)
【当期総利益】	目的積立金等取崩額
115	112

業務実施コスト計算書

損益計算書の費用	国から措置された 収益以外の収益 (自己収入)
50,543	33,598
	業務実施コスト
損益外減価償却・機会費用等	18,926
1,981	

利益処分に関する書類(案)

利益処分類	115
・積立金	53
・目的積立金	61

貸借対照表の概要

貸借対照表って何？

貸借対照表とは、決算日(3/31)における、財政状態を明らかにするものです。

何がわかるの？

本学が、今年度の3/31現在で資産をどれだけ保有し、負債をどれだけ抱え、その結果、純資産がどのようになっているのかわかります。

貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

資産の部				負債の部			
	24年度	25年度	増減額		24年度	25年度	増減額
〈固定資産〉	108,552	108,908	356	〈固定負債〉	40,504	40,948	444
土地	42,532	42,532	0	資産見返負債	11,968	13,472	1,504
建物	47,966	47,601	▲ 365	長期借入金	24,796	24,400	▲ 396
工具器具備品	8,438	8,727	289	長期未払金	848	714	▲ 134
建設仮勘定	797	2,011	1,214	その他	2,890	2,360	▲ 530
その他	8,818	8,035	▲ 783	〈流動負債〉	15,059	16,744	1,685
〈流動資産〉	17,255	19,462	2,207	運営費交付金債務	1,886	2,276	390
現金及び預金	11,567	12,970	1,403	寄附金債務	3,606	3,654	48
未収附属病院収入	4,814	4,914	100	前受受託研究費等	413	516	103
たな卸資産等	350	365	15	未払金	5,878	7,002	1,124
その他	522	1,211	689	その他	3,274	3,294	20
				負債 計	55,564	57,693	2,129
				純資産の部			
					24年度	25年度	増減額
				資本金	56,189	56,189	0
				資本剰余金	9,813	10,377	564
				利益剰余金	4,240	4,109	▲ 131
				純資産 計	70,243	70,677	434
資産合計	125,807	128,370	2,563	負債・純資産合計	125,807	128,370	2,563

※百万円未満は切り捨てのため、それぞれの合計額は一致しない場合があります。

【資産の部】

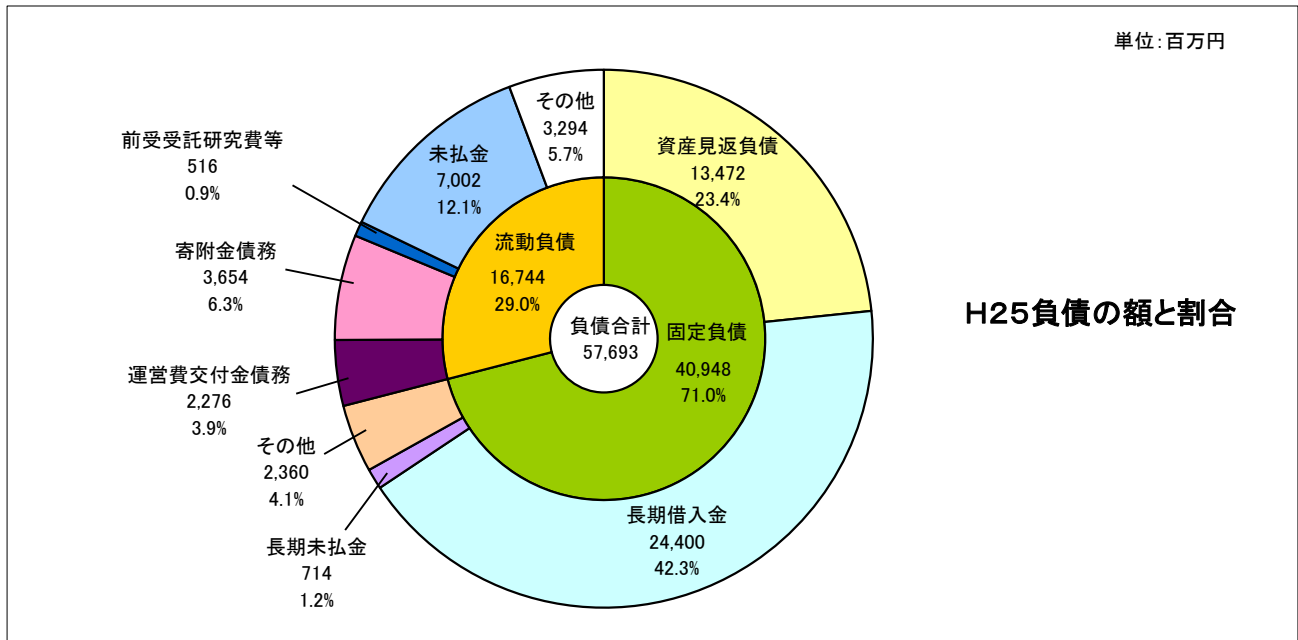
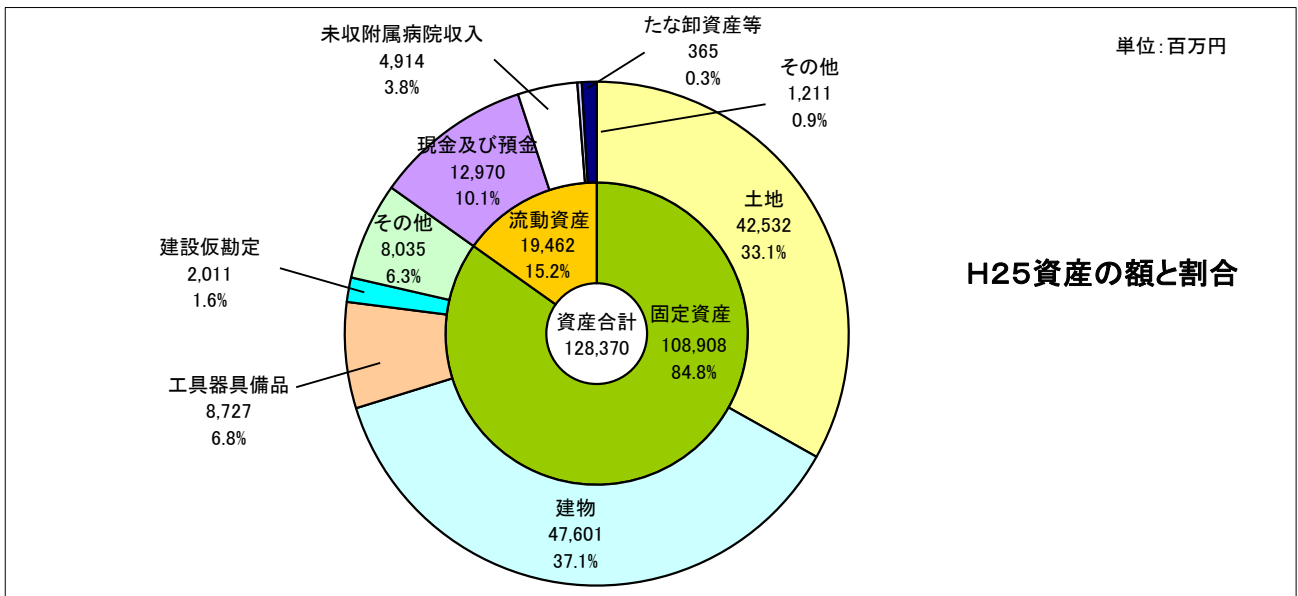
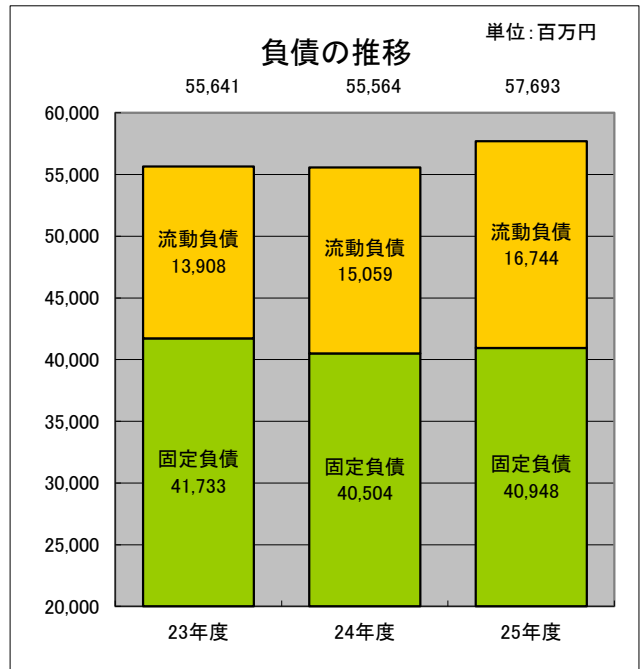
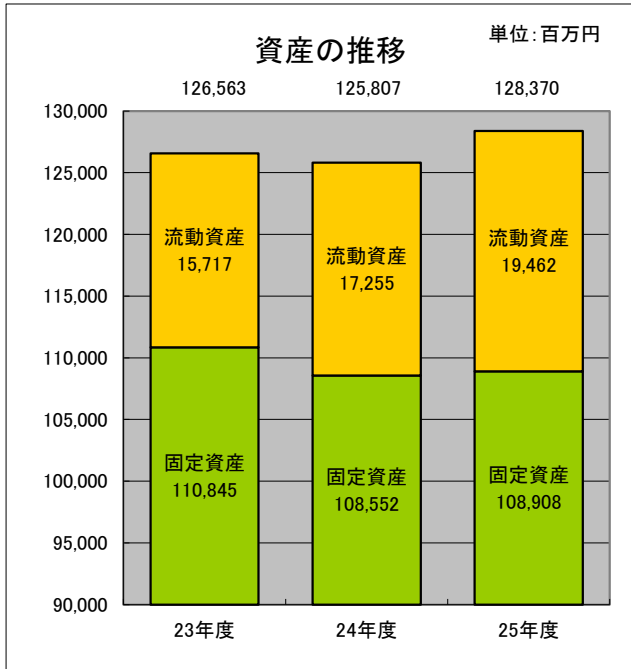
平成25年度は、固定資産において、病院再開発事業(中央診療棟改修)等に係る「建設仮勘定」が前年度より増加したこと等により総額で約1,089億円となり、対前年度比約3億円増加しました。

流動資産においては、翌期以降に亘る学内プロジェクト事業の増加や特別経費(復興関連事業分)等に係る運営費交付金の繰越額が増加したこと、前期末よりも固定資産の取得規模が増加し未払金が増加したこと等により「現金及び預金」が増加し総額で約194億円となり、対前年度比約22億円増加しました。

【負債の部】

平成25年度は、固定負債において、固定資産の取得増加に伴う「資産見返負債」の増加等により総額で約409億円となり、対前年度比約4億円増加しました。

流動負債においては、翌期以降に使用予定の「運営費交付金債務」の繰越額が増加したこと、前期末よりも固定資産の取得規模が増加したことにより「未払金」が増加したこと等により総額で約167億円となり、対前年度比約16億円増加しました。



貸借対照表の主な増減要因

・前年度と比較した主な増減要因は以下のとおりです。

資産の部		128,370 百万円	2,563 百万円 増加
土地	42,532 百万円		0 百万円
建物	47,601 百万円		▲ 365 百万円 減少
工具器具備品	8,727 百万円		289 百万円 増加
<p>◎土地・建物・工具器具備品とは、本学が行わなければならない教育・研究・診療等の事業に必要な基盤となる資産のことです。</p> <p>・建物については、附属小学校校舎改修、図書館医学分館改修、附属特別支援学校校舎改修などの事業を行ったことによる増加があった一方で、除却処理及び減価償却による減少等により、最終的には減少しました。</p>			
建設仮勘定	2,011 百万円		1,214 百万円 増加
<p>◎建設仮勘定とは、建物等の建設を行う場合において建物等が完成するまでに要した支出額を計上する勘定のことです。建物等が完成した際には、この建設仮勘定から適切な勘定(建物等)に振り替えなければなりません。</p> <p>・平成25年度は、附属小学校校舎改修、附属特別支援学校校舎改修の竣工に伴い建物等への振替処理を行ったこと等による減少があった一方で、病院再開発事業(中央診療棟改修)、総合研究棟(旧歯学部本館)改修、総合研究棟(熱帯医学等)新営等による増加により、最終的には増加しました。</p>			
現金及び預金	12,970 百万円		1,403 百万円 増加
<p>◎貸借対照表に計上される現金及び預金(3/31現在)は、翌期に支払いに充てる予定の未払金と寄附金等の外部資金の繰越額がそのほとんどを占めています。</p> <p>・平成25年度は、運営費交付金債務の繰越額が増加したこと、前期末よりも固定資産の取得規模が増加し未払金が増加したこと等で、大幅に増加しました。</p>			

負債の部		57,693 百万円	2,129 百万円 増加
資産見返負債(「資産見返運営費交付金等」など)	13,472 百万円		1,504 百万円 増加
<p>◎資産見返負債とは、運営費交付金、授業料、補助金及び寄附金等により固定資産を取得した際に、運営費交付金債務等の財源ごとに計上されている流動負債(〇〇債務)が取り崩されて計上される固定負債のことです。なお、この負債は減価償却が行われる際、減価償却費(費用)と同額が取り崩され資産見返負債戻入(収益)へと計上されます。この処理を行うことで損益が均衡する仕組みとなっており、国立大学法人会計特有の勘定です。</p>			
長期借入金	24,400 百万円		▲ 396 百万円 減少
<p>◎借入金とは、法人化以降、病院の再開発事業を行うにあたり、国立大学財務・経営センターから借り入れたものです。3/31現在の債務残高(元本)が長期借入金として計上されていますが、翌期に返済を行う額は流動負債(「一年以内返済予定長期借入金」※P5では「その他」に計上)へ計上されています。</p> <p>・平成25年度は、病院再開発事業(中央診療棟改修等)に係る借入による増加があった一方で、翌期の返済予定額を流動負債に振り替えたことにより、最終的には減少しました。</p>			
運営費交付金債務	2,276 百万円		390 百万円 増加
<p>◎国から運営費交付金を交付されたときは、本学が行うべきサービスの提供等を任されたものとして、その相当額を運営費交付金債務として負債に計上し、業務活動の進行に応じて収益に振り替えることになっています。</p> <p>・平成25年度は、退職手当の繰越額の減少やH24年度補正予算(復興関連事業)の事業実施に伴う減少等があった一方で、業務達成基準を適用した学内プロジェクトによる繰越額の増加や特別経費(復興関連事業分)の繰越額等による増加により、最終的には増加しました。</p>			
未払金	7,002 百万円		1,124 百万円 増加
<p>◎貸借対照表に計上される未払金(3/31現在)は、期末における固定資産の取得(工事の竣工や工具器具備品の納品等)の多寡等により大きく変動します。</p> <p>・平成25年度は、前期末よりも固定資産の取得規模が増加したこと等により、大幅に増加しました。</p>			

損益計算書の概要

損益計算書って何？

損益計算書とは、一会計期間における本学の運営状況を示したものです。

何がわかるの？

金額面から見た今年1年間の活動内容がわかります。

費用では教育経費でいくら使用したのか、収益では授業料収益をいくらあげることが出来たのか等です。最終的には損益均衡を原則としつつも、自助努力によりあげた利益額がわかります。

損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	費用				収益		
	平成24年度	平成25年度	増減額		平成24年度	平成25年度	増減額
〈経常費用〉	48,726	50,362	1,636	〈経常収益〉	48,753	50,519	1,766
業務費	46,885	48,211	1,326	運営費交付金収益	13,800	13,759	▲ 41
教育経費	2,407	2,690	283	学生納付金収益	5,139	5,132	▲ 7
研究経費	3,575	3,797	222	附属病院収益	23,920	24,901	981
診療経費	14,325	14,774	449	受託研究等収益等	1,567	1,453	▲ 114
教育研究支援経費	525	587	62	寄附金収益	790	927	137
受託研究費等	1,565	1,437	▲ 128	施設費収益	194	367	173
役員人件費	114	107	▲ 7	補助金等収益	1,108	1,440	332
教員人件費	12,729	12,906	177	資産見返負債戻入	1,465	1,592	127
職員人件費	11,642	11,909	267	財務収益	14	23	9
一般管理費	1,263	1,624	361	雑益	752	921	169
財務費用	577	523	▲ 54	〈臨時利益〉	15	26	11
雑損	0	2	2	〈前中期目標期間繰越積立金取崩額〉	11	0	▲ 11
〈臨時損失〉	97	181	84	〈目的積立金取崩額〉	50	112	62
経常・臨時計	48,824	50,543	1,719	経常・臨時等計	48,831	50,658	1,827
総利益							
当期総利益	7	115	108				
費用・総利益合計				収益合計			
	48,831	50,658	1,827		48,831	50,658	1,827

※百万円未満は切り捨てのため、それぞれの合計額は一致しない場合があります。

【費用】

教育環境の充実や学生支援の強化を図ったこと等により「教育経費」が増加し、獲得した外部資金の支出の増加や研究施設の改修等により「研究経費」が増加し、手術件数の増加等に伴う材料費の増加等により「診療経費」が増加しました。また、人件費については、国家公務員の給与改定臨時特例法に準じた給与削減により減少する一方で、「教員人件費」は教員数や病院における特殊勤務手当の増加等により、「職員人件費」は医療スタッフの充実や処遇改善を図ったこと等により、それぞれ増加しました。その結果、「経常費用」総額で約503億円となり、対前年度比で約16億円増加しました。

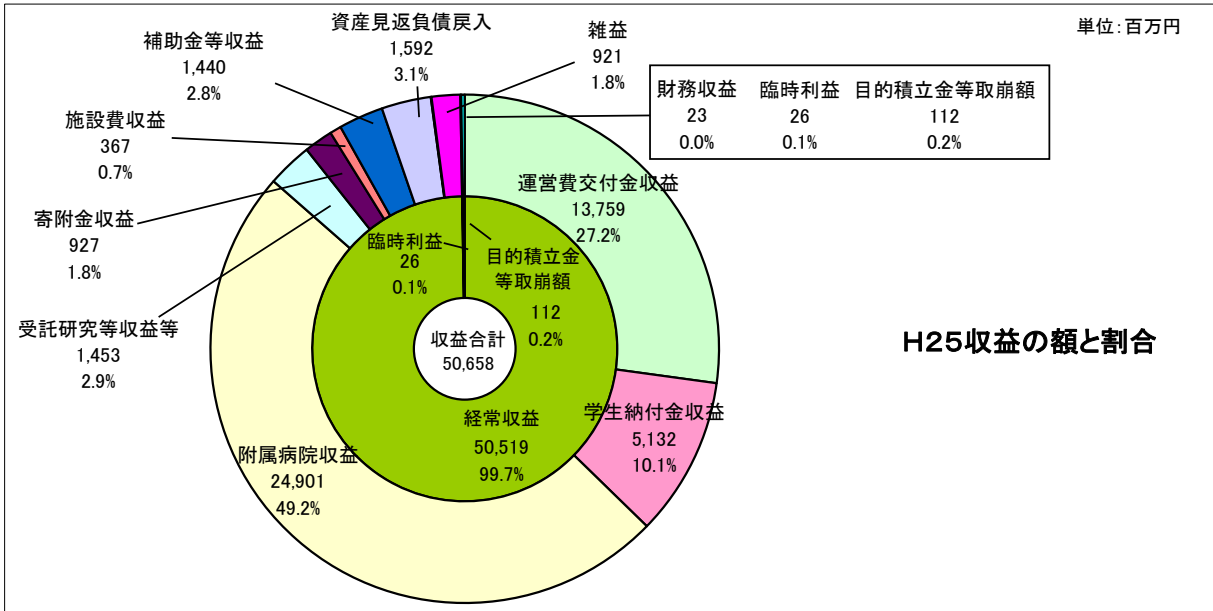
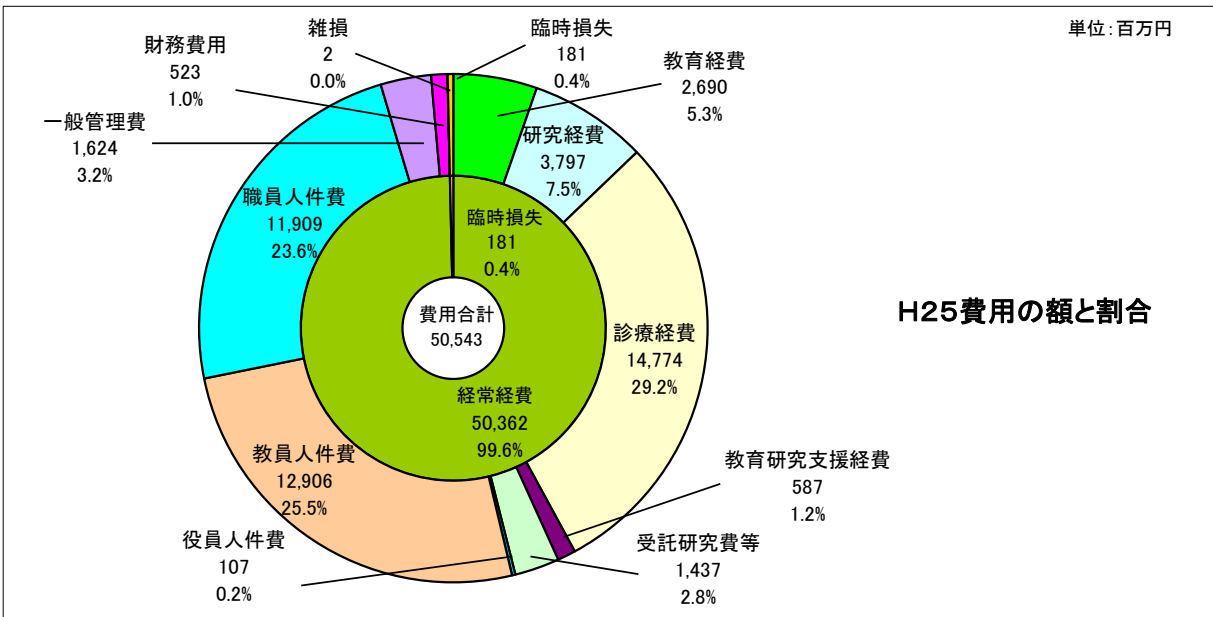
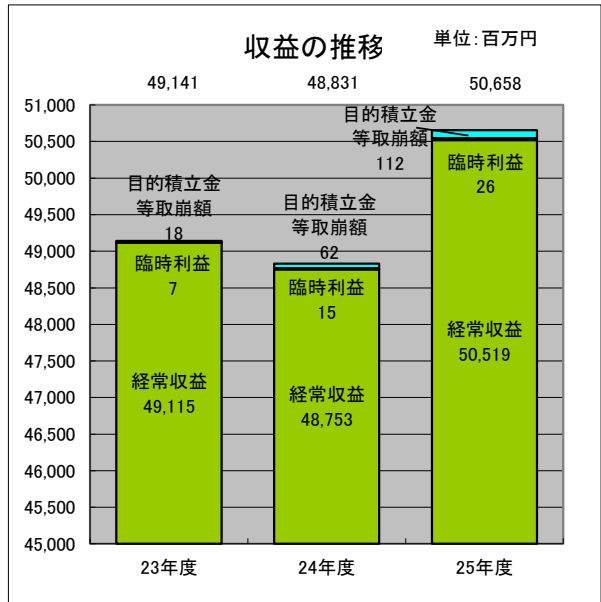
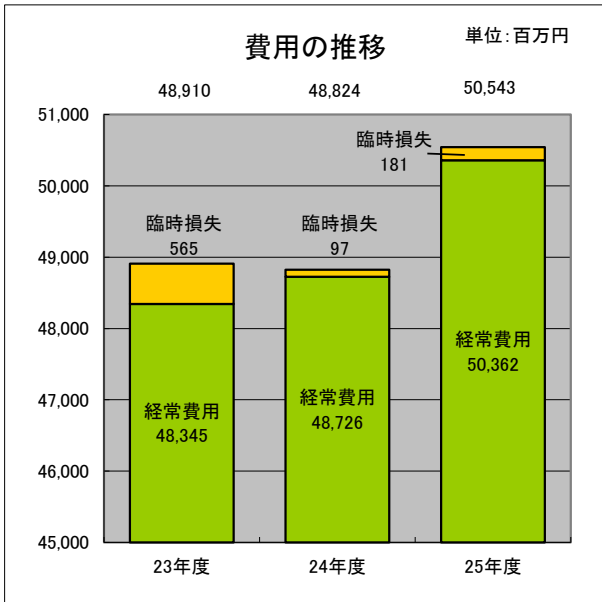
「臨時損失」については、平成26年度に予定しているPCB廃棄物処理のため引当金を計上したこと等により、対前年度比で約84百万円増加しました。

【収益】

病院の経営努力の結果「附属病院収益」が大きく増加したことに加え、補助金の受入の増加に伴い「補助金等収益」も増加したため、総額で約506億円となり、対前年度比で約18億円増加しました。

【当期総利益】

収益と費用の差額115百万円が平成25年度の「当期総利益」となりました。



損益計算書の主な増減要因

・前年度と比較した主な増減要因は以下のとおりです。

費用	50,543 百万円	1,719 百万円 増加
-----------	-------------------	--------------

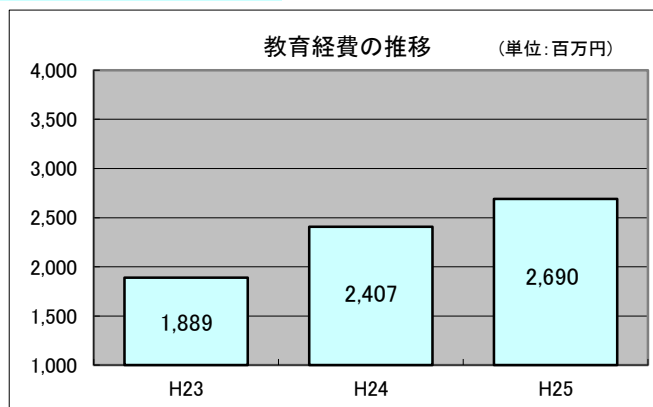
〈経常費用〉	50,362 百万円	1,636 百万円 増加
---------------	-------------------	--------------

教育経費	2,690 百万円	283 百万円 増加
-------------	------------------	------------

◎教育経費とは、学生等に対し行われる教育に要する経費のことです。

具体的には、入学試験、正課教育、就職準備活動、入・卒業式などがあげられます。

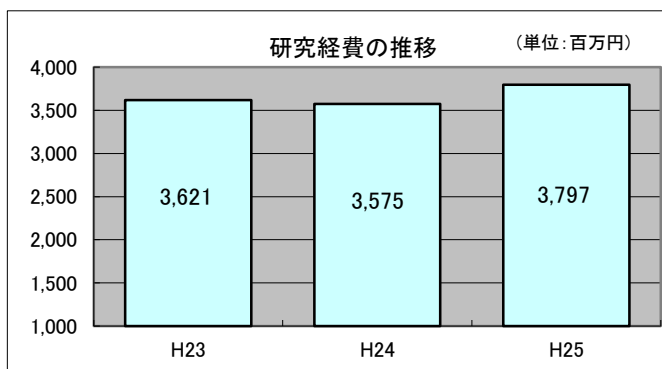
・教育経費については、授業料免除枠の拡大等による奨学金費、附属学校改修に伴う撤去費等、熱帯医学校新設に向けた旅費等、補助金の受入増加に伴う費用支出等が増加し、また、教育用資産の減価償却費も増加したことで、大幅に増加しました。



研究経費	3,797 百万円	222 百万円 増加
-------------	------------------	------------

◎研究経費とは、研究に要する経費のことです。

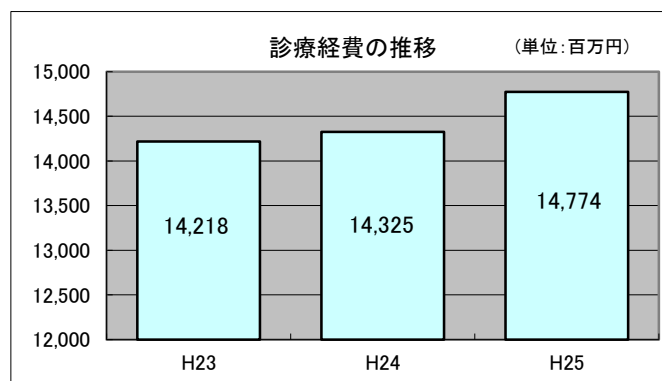
・研究経費については、環東シナ海環境資源研究センター改修に伴う物品の購入、先導生命科学研究支援センターの本稼働による光熱水費、補助金の受入増加に伴う費用支出、前年度から繰り越した寄附金での費用支出等が増加し、また、研究用資産の減価償却費も増加したことで、前年度よりも増加しました。

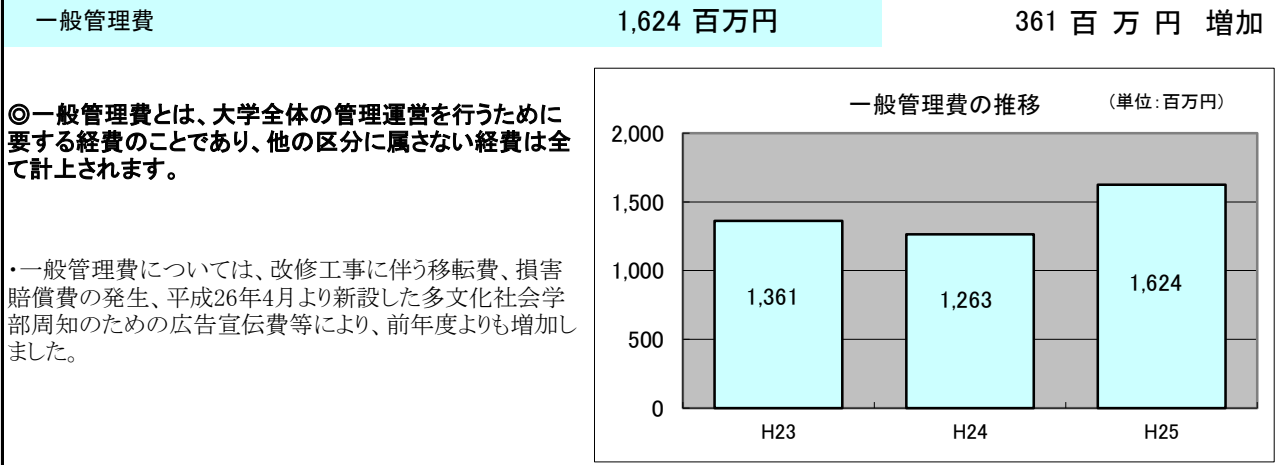
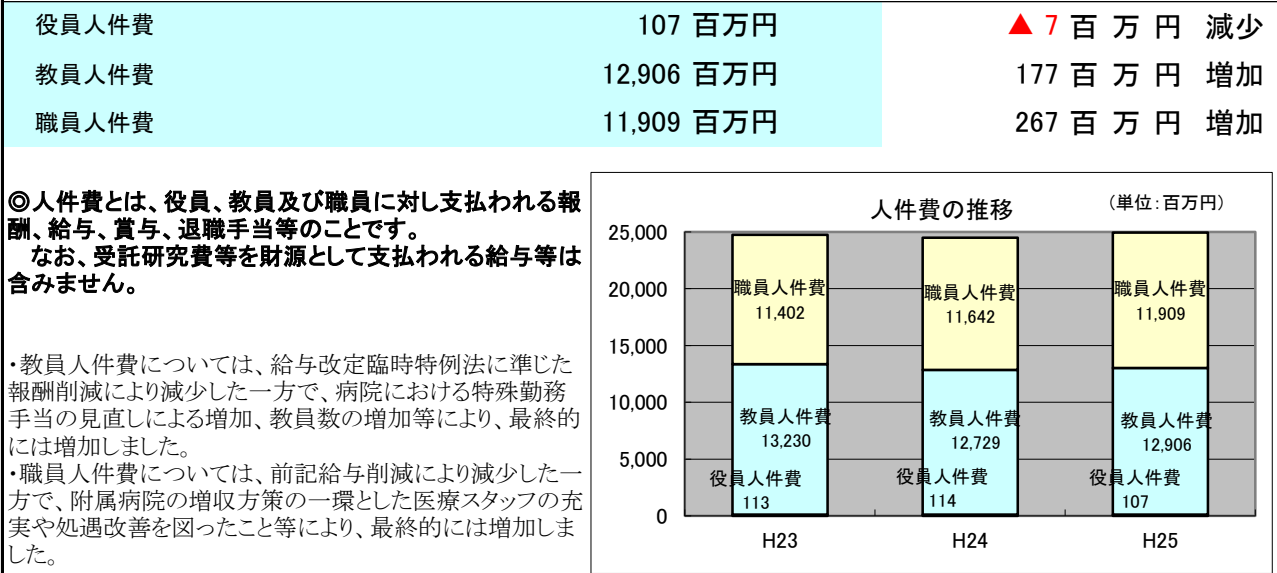
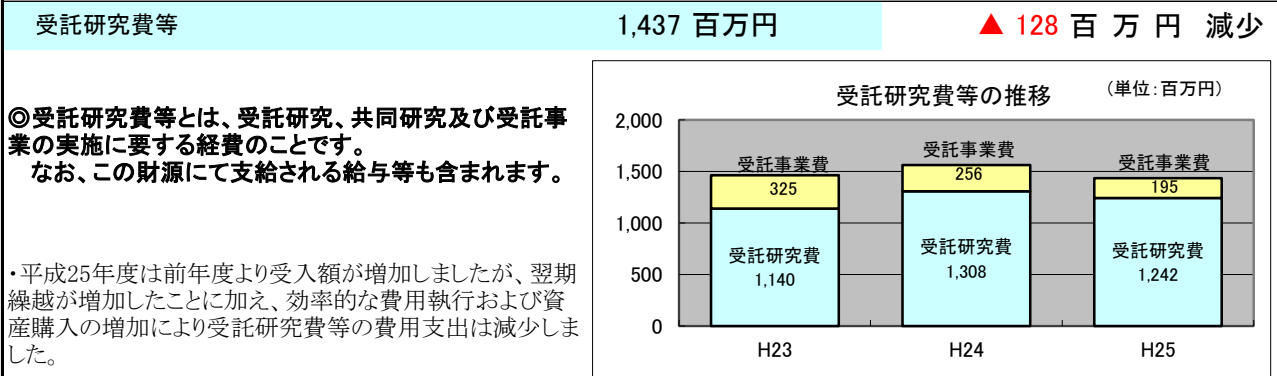
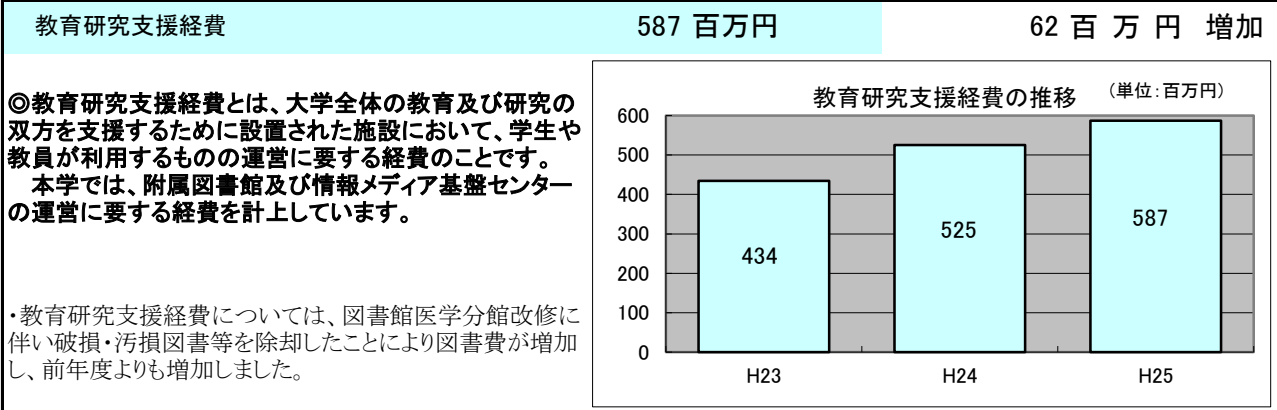


診療経費	14,774 百万円	449 百万円 増加
-------------	-------------------	------------

◎診療経費とは、診療報酬の獲得が予定される行為に要する経費のことです。

・附属病院については、診療用資産の減価償却費は減少しましたが、病院収益の伸びと連動して材料費が増加したため、最終的には増加しました。





収益

50,658 百万円

1,827 百万円 増加

〈経常収益〉

50,519 百万円

1,766 百万円 増加

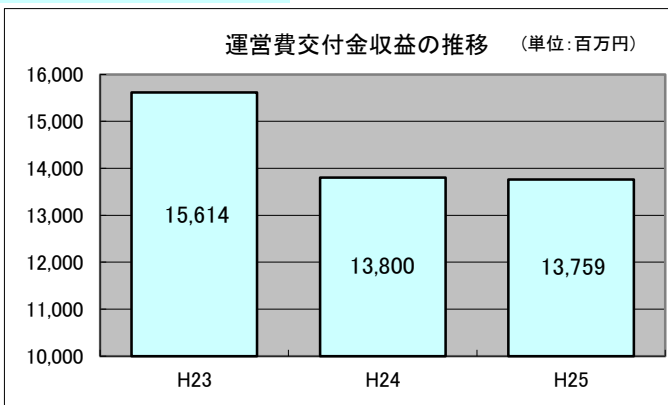
運営費交付金収益

13,759 百万円

▲ 41 百万円 減少

◎運営費交付金収益とは、国から措置された運営費交付金について行うべき事業を行ったことにより収益として計上したものです。
 なお、運営費交付金収益は、国の予算措置額及び資産取得の状況が大きく影響します。

・平成25年度は、予算措置額が前年度より減少したこと等により収益化額が減少しました。

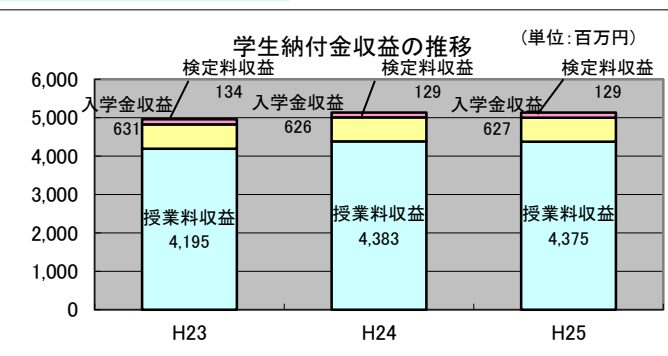


学生納付金収益

5,132 百万円

▲ 7 百万円 減少

◎学生納付金収益とは、学生からの授業料、入学金及び検定料について、行うべき事業を行ったことにより収益として計上したものです。
 なお、学生納付金収益は、学生からの納付状況及び資産取得の状況が大きく影響します。



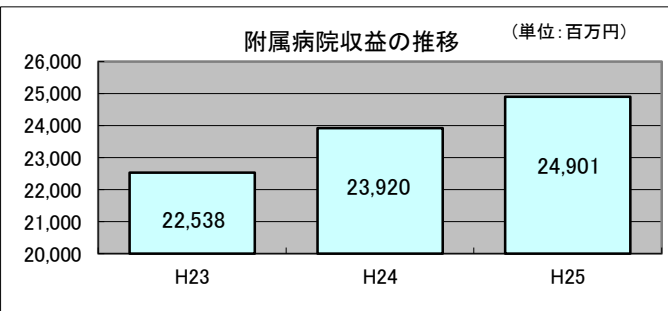
附属病院収益

24,901 百万円

981 百万円 増加

◎附属病院収益とは、病院において診療行為を行ったことにより獲得した収益のことです。

・平成25年度は、高額処置及び手術件数の増加、外来化学療法件数の増加等により附属病院収益が増加しました。



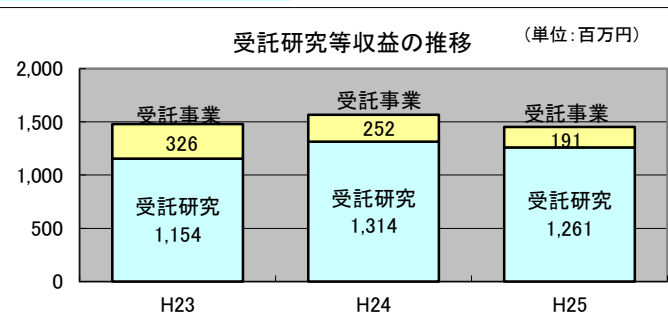
受託研究等収益等

1,453 百万円

▲ 114 百万円 減少

◎受託研究等収益等とは、受託研究、共同研究及び受託事業により得られた収益のことです。
 なお、受託研究等収益等は、受入状況が大きく影響します。

・平成25年度の受入額は前年度に比べ受託研究が増加し、受託事業は減少していますが、翌期繰越額の増加、効率的な費用執行及び資産取得額が増加したことにより収益化額が減少しました。



寄附金収益	927 百万円	137 百万円 増加
◎寄附金収益とは、寄附金を財源として執行したもののうち、費用として計上したものと同額が計上されます。		
施設費収益	367 百万円	173 百万円 増加
◎施設費収益とは、国から措置された施設整備費補助金及び国立大学財務・経営センターからの交付金により学内の各施設を整備した事業のうち、費用として計上したものと同額が計上されます。		
補助金収益	1,440 百万円	332 百万円 増加
◎補助金収益とは、国や地方公共団体等から措置された補助金で行った事業のうち、費用として計上したものと同額が計上されます。 なお、補助金収益は、受入額及び資産取得の状況が大きく影響します。		
資産見返負債戻入	1,592 百万円	127 百万円 増加
◎資産見返負債戻入とは、当期または前期以前において、運営費交付金、授業料、補助金及び寄附金等により固定資産を取得したもののうち、当期に計上される減価償却費(費用)と同額が資産見返〇〇金(例:資産見返運営費交付金等、資産見返寄附金 等)から振り替えられて計上されたものです。 なお、この処理を行うことで損益が均衡する仕組みとなっており、国立大学法人会計特有の勘定です。		
〈臨時損失〉	181 百万円	84 百万円 増加
〈臨時利益〉	26 百万円	11 百万円 増加
◎臨時損失及び臨時利益とは、大学本来の業務活動とは別に発生した損失及び利益のことです。 主に固定資産の売却や除却を行うことで発生します。		

キャッシュ・フロー計算書の概要

キャッシュ・フロー計算書って何？

キャッシュ・フロー計算書とは、一会計期間におけるキャッシュ(お金)のフロー(流れ)を一定の活動区分別に表したものです。

何がわかるの？

固定資産取得や借入・返済等の現金の受払が表示されているので、**貸借対照表**や**損益計算書**からは読み取ることができない**資金の流れの状況**がわかります。

キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー		6,430
・運営費交付金収入	15,190	・原材料、商品又はサービスの購入による支出
・学生納付金収入	4,948	▲ 17,658
・附属病院収入	24,766	・人件費支出
・その他の収入	5,972	▲ 25,168
・預り科研費の純増加額	35	・その他の支出
		▲ 1,656
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		▲ 2,635
・有価証券の売却による収入	100	・固定資産取得による支出
・施設費による収入	3,219	▲ 6,474
・定期預金の払い戻しによる収入	15,000	・定期預金預け入れによる支出
・利息及び配当金の受取額	19	▲ 14,500
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		▲ 1,891
・長期借入れによる収入	1,011	・国立大学法人財務・経営センター債務負担金の返済による支出
		▲ 547
		・リース債務の返済による支出
		▲ 468
		・長期借入金の返済による支出
		▲ 1,363
		・利息の支払額
		▲ 522
IV 資金増加額(又は減少額)(I + II + III)		1,903
V 資金期首残高		3,562
VI 資金期末残高(IV + V)		5,465

※百万円未満は切り捨てのため、それぞれの合計額は一致しない場合があります。

- ・業務活動によるキャッシュ・フロー・・・通常業務の実施により生じた資金の出入りのことです。
- ・投資活動によるキャッシュ・フロー・・・将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資に伴う資金の出入りのことです。
- ・財務活動によるキャッシュ・フロー・・・業務に必要な資金の調達及び返済に係る資金の出入りのことです。
- ・資金期末残高は、貸借対照表中の「現金及び預金」のうち定期預金を除いた額に一致します。

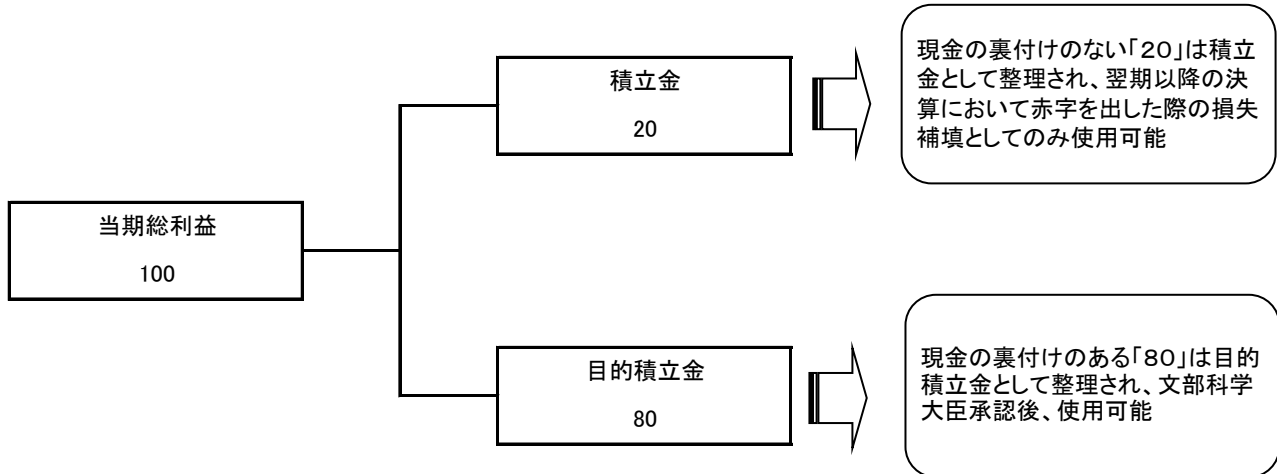
利益の処分に関する書類の概要

利益の処分に関する書類(要約)

(単位:円)

区分	金額
I 当期末処分利益	
当期総利益	115,015,101
II 利益処分量	
積立金	53,893,290
目的積立金	61,121,811

《当期総利益が100 そのうち現金の裏付けが80あった場合》



ココがポイント！！

①当期総利益が全て、目的積立金になるわけではありません。

当期総利益のうち、現金の裏付けがあり、翌期以降の事業に使用する予定があるものだけが目的積立金となります。

例えば、病院の運営状況によっては、現金の残額が当期総利益を上回ることがあり、その場合、当期総利益が目的積立金の上限額となります。

②病院収入で返済している借入金の返済期間(5年据置25年償還等)は、借入金で取得した病院建物等の耐用年数(39年等)より短くなっています。よって、返済額が借入金見合資産(病院建物等)の減価償却費よりも大きくなってしまふことから、現金の残っていない利益が発生し、積立金となります。

国立大学法人等業務実施コスト計算書の概要

業務実施コスト計算書って何？

業務実施コスト計算書とは、本学の業務運営を行うにあたり、**納税者である国民の皆様からどれだけ負担**をしていただいたのかわかります。

国立大学法人等業務実施コスト計算書(要約)

(単位:百万円)

業務に要したコスト		控除額	
<ul style="list-style-type: none"> ・業務費用(損益計算計上額) <li style="padding-left: 20px;">業務費 48,211 <li style="padding-left: 20px;">一般管理費 1,624 <li style="padding-left: 20px;">財務費用 523 <li style="padding-left: 20px;">雑損 2 <li style="padding-left: 20px;">臨時損失 181 ・損益外減価償却相当額等 2,020 ・引当外賞与増加見積額等 ▲ 495 ・機会費用 456 <li style="text-align: right; padding-right: 20px;">業務コスト 計 52,524 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己収入等 <li style="padding-left: 20px;">学生納付金収益 5,132 <li style="padding-left: 20px;">附属病院収益 24,901 <li style="padding-left: 20px;">受託研究等収益 1,453 <li style="padding-left: 20px;">寄附金等収益 927 <li style="padding-left: 20px;">資産見返戻入(授業料・寄附金) 608 <li style="padding-left: 20px;">財務収益 23 <li style="padding-left: 20px;">雑益 527 <li style="padding-left: 20px;">臨時利益 23 <li style="text-align: right; padding-right: 20px;">控除額 計 33,598 		
業務実施コスト(業務に要したコストー控除額)		18,926	

※百万円未満は切り捨てのため、それぞれの合計額は一致しない場合があります。

この国民の皆様にご負担していただいたコストですが、H25.12.1現在の日本の総人口から算出すると・・・国民一人当たり約149円を負担していただいたこととなります。

- ・損益外減価償却相当額等 …… 国から出資された資産の減価償却費等は、病院に帰属する資産を除き損益計算書には計上されません。(純資産にて計上)しかし、最終的には国民の負担となっているものと判断し、今年度の費用相当額としてコストに計上したものです。
- ・引当外賞与増加見積額等 …… 運営費交付金を財源として支給される賞与及び退職給付費用については、引当処理を行わないため損益計算書には計上されません。しかし、最終的には国民の負担となっているものと判断し、前年度末と今年度末との差額を今年度要した費用相当額としてコストに計上したものです。
- ・機会費用 …… 機会費用とは、国の機関や地方公共団体等と本学相互間において無償使用等を行ったものについて、実際に必要であったと思われる相当額をコストに計上したものです。

決算報告書の概要

決算報告書って何？

決算報告書とは、1年間の収入及び支出の状況を国の会計ルールに準じた予算区分に応じて作成したものです。

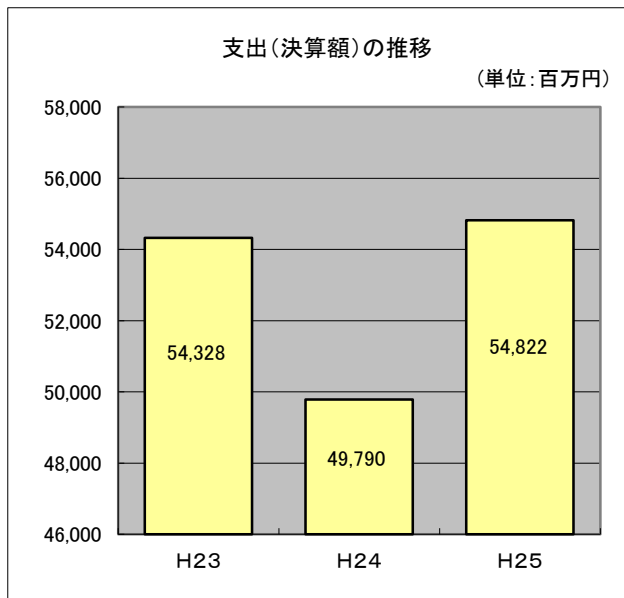
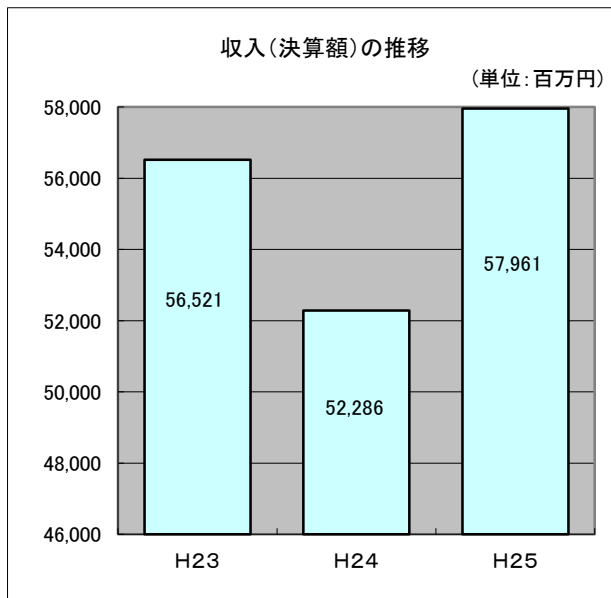
何がわかるの？

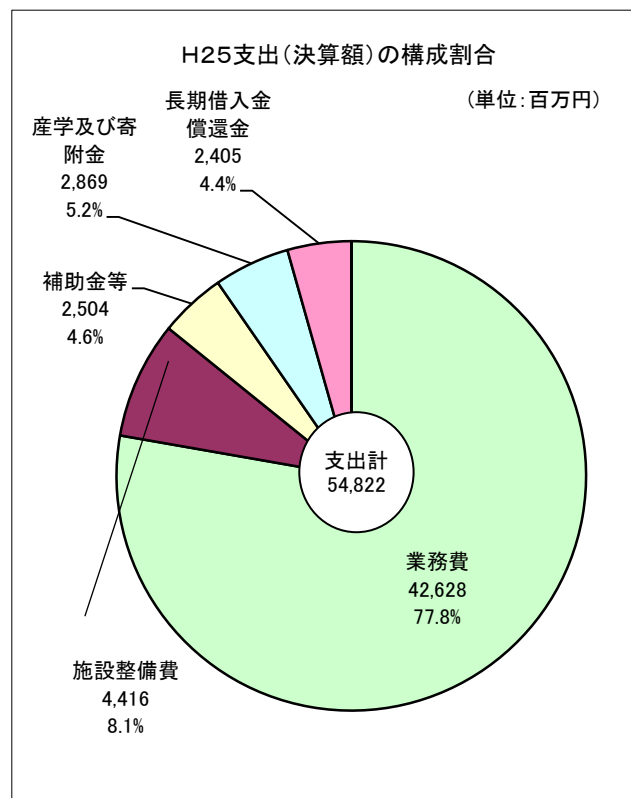
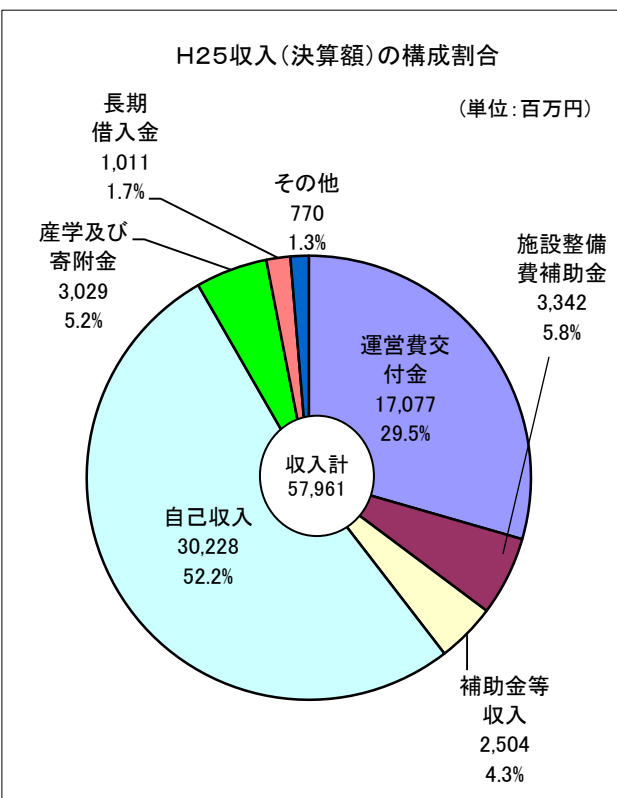
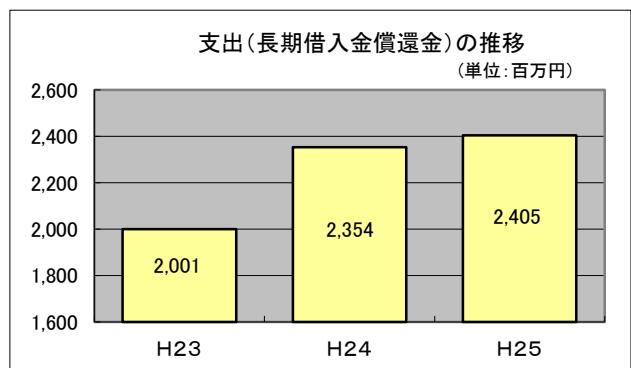
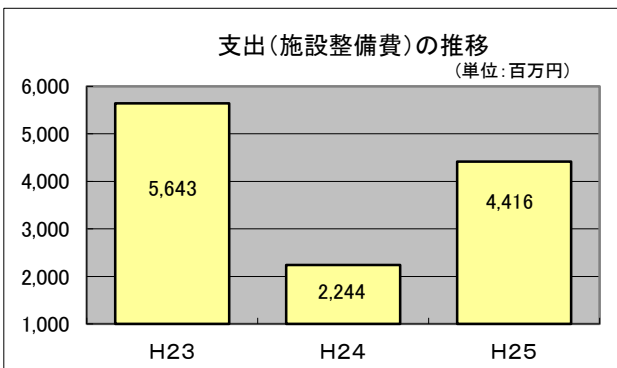
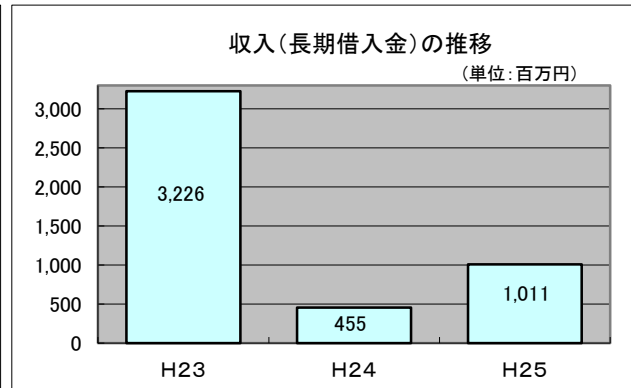
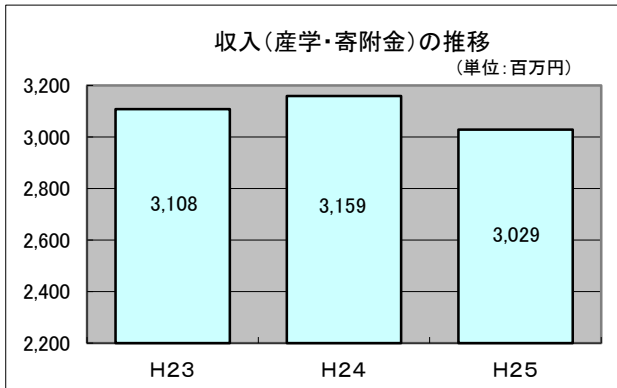
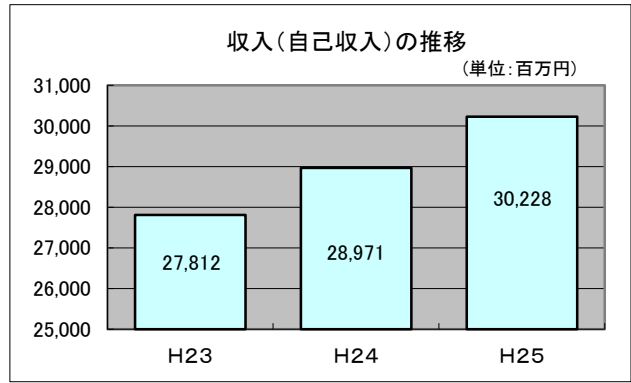
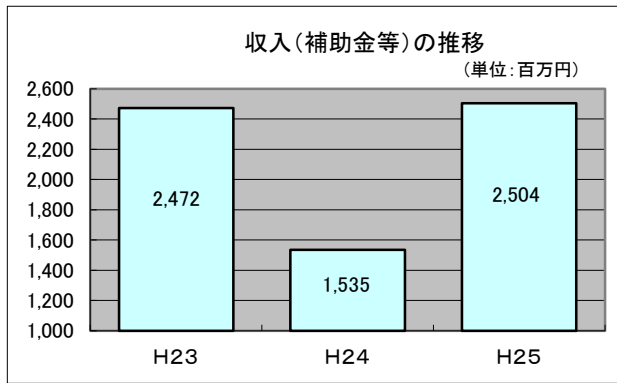
年度計画時に立てた収入と支出の**見込額(予算額)**がどのような**結果(決算額)**であったのかわかります。
また、各**予算区分**に応じた**収入及び支出の執行結果**を見ることが出来ます。

決算報告書(要約)

(単位:百万円)

収入	予算額	決算額	差額
運営費交付金	16,485	17,077	592
施設整備費補助金	3,941	3,342	▲ 599
補助金等収入	2,498	2,504	6
国立大学財務・経営センター施設費交付金	63	63	0
自己収入	28,748	30,228	1,480
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,606	3,029	423
引当金取崩	-	461	461
長期借入金収入	1,671	1,011	▲ 660
目的積立金取崩	343	246	▲ 97
計	56,355	57,961	1,606
支出	予算額	決算額	差額
業務費	43,163	42,628	▲ 535
施設整備費	5,675	4,416	▲ 1,259
補助金等	2,498	2,504	6
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,606	2,869	263
長期借入金償還金	2,413	2,405	▲ 8
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	-	-
計	56,355	54,822	▲ 1,533
収入－支出	0	3,139	3,139





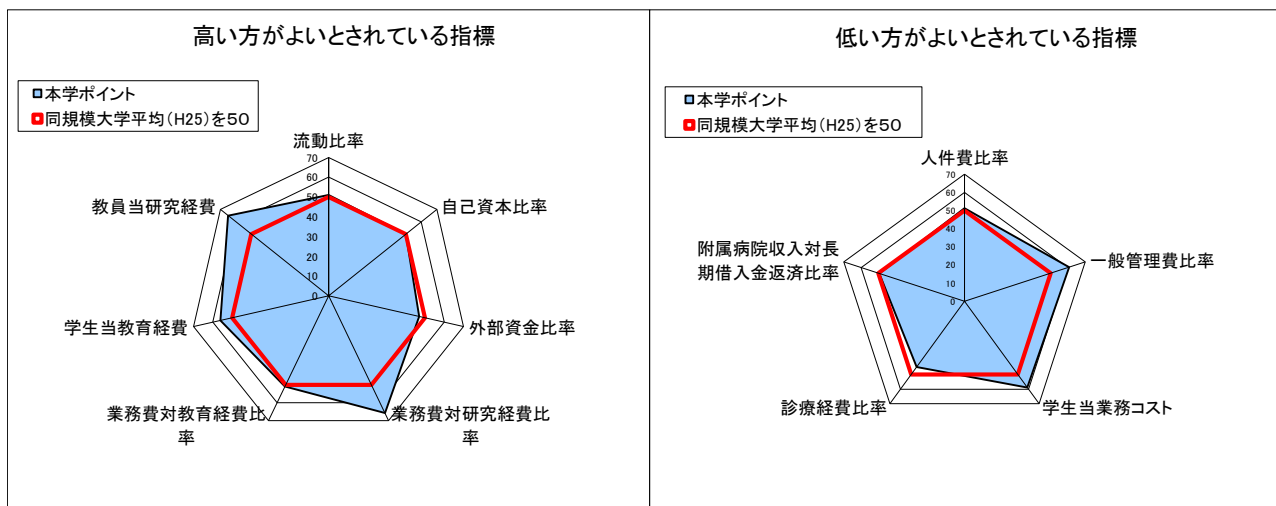
主な財務指標

No.	項目	算式	24年度	25年度	25年度 同規模大学 平均	指標の意味
【 高い方がよいとされている指標 】						
1	流動比率	流動資産/流動負債	114.6%	116.2%	113.9%	短期的な支払能力を示す指標。
2	自己資本比率	純資産/(負債+純資産)	55.8%	55.1%	55.1%	総純資産に対する自己資本を示す指標。この比率が大きいほど大学の健全性が高い。
3	外部資金比率	(受託研究収益+受託事業収益+寄附金収益)/経常収益	4.8%	4.7%	5.0%	外部資金収益の経常収益に占める割合を示す指標。この比率が大きいほど外部資金による収益獲得割合が高い。
4	業務費対研究経費比率	研究経費/業務費	7.6%	7.9%	6.0%	業務費に対する研究経費を示す指標。この比率が大きいほど研究活動に使用される経費割合が高い。
5	業務費対教育経費比率	教育経費/業務費	5.1%	5.6%	5.5%	業務費に対する教育経費を示す指標。この比率が大きいほど教育活動に使用される経費割合が高い。
6	学生当教育経費	教育経費/学生実員5/1現在の員数	265千円	294千円	262千円	学生一人当たりの教育規模を示す指標。この数値が高いほど学生一人当たりの教育に要する経費が大きい。
7	教員当研究経費	研究経費/教員実員5/1現在の員数	3,103千円	3,212千円	2,470千円	教員一人当たりの研究規模を示す指標。この数値が高いほど研究活動で使用される経費が大きい。
【 低い方がよいとされている指標 】						
8	人件費比率	人件費/業務費	52.2%	51.7%	50.4%	人件費の業務費に対する割合を示す指標。この比率が小さいほど大学の効率性が高い。
9	一般管理費比率	一般管理費/業務費	2.7%	3.4%	2.8%	一般管理費の業務費に対する割合を示す指標。この比率が小さいほど大学の効率性が高い。
10	学生当業務コスト	業務コスト/学生実員	2,043千円	2,075千円	1,761千円	大学全体の業務コストを学生実員を基準として用いて示した指標。この数値が低いほど大学の効率性が高い。
11	診療経費比率	診療経費/附属病院収益	59.9%	59.3%	66.0%	病院収益に対する診療経費の割合を示す指標。この比率が低いほど病院の収益性が高い。
12	附属病院収入対長期借入金返済比率	(長期借入金返済+財務・経営センター納付金)/附属病院収入	7.7%	7.7%	7.8%	病院収入に対する借入金の返済割合を示す指標。この比率が低いほど病院の健全性が高い。

※「同規模大学」とは文部科学省による財務分析上の分類で、医科系学部とその他の学部で構成された次の25大学を指す。

弘前大学、秋田大学、山形大学、群馬大学、富山大学、金沢大学、福井大学、山梨大学、信州大学、岐阜大学、三重大学、鳥取大学、島根大学、山口大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学

※25年度において赤字で表記しているものは、前年度と比較して改善が見られた項目





本件に関する問い合わせ先

国立大学法人 長崎大学
財務部 財務企画課 財務戦略室 決算班

TEL 095-819-2054
FAX 095-819-2056
yoketu@ml.nagasaki-u.ac.jp